

Top Message	環境本部長インタビュー	特集1「第8期富士通グループ環境行動計画」の焦点	特集2 Digital Innovation	Chapter I 社会への貢献	Chapter II 自らの事業活動	環境マネジメント	データ編
-------------	-------------	--------------------------	------------------------	------------------	--------------------	----------	------

事業所における温室効果ガス(GHG)排出量の削減・エネルギー効率の改善	環境配慮データセンターの推進	物流・輸送時のCO <sub>2</sub> 排出量削減	お取引先のCO <sub>2</sub> 排出量削減の推進	再生可能エネルギー利用量の拡大	水資源の有効利用	化学物質排出量の抑制	廃棄物排出量の抑制	製品のリサイクル
-------------------------------------	----------------	------------------------------	-------------------------------	-----------------	----------	------------	-----------	----------

## 化学物質排出量の抑制

### 富士通グループのアプローチ

有害な化学物質の使用による自然環境の汚染と健康被害につながる環境リスクを予防するため、富士通グループでは約1,300種の化学物質を管理しています。

化学物質管理システム「FACE」を活用することで、各事業所での化学物質の登録・管理、化学物質等安全データシート(SDS)の管理、購買データや在庫管理と連携した収支管理を行い、化学物質管理の強化と効率化を実現しています。

### 2015年度の実績サマリー

第7期環境行動計画の目標 (2015年度末まで)	化学物質の排出量を 2009年～2011年度の平均以下に抑制する。 <b>(PRTR 21トン、VOC 258トン)</b>
2015年度実績	<b>PRTR 19トン、VOC 201トン</b>

### 2015年度の実績・成果

#### PRTR、VOC排出量の継続目標を達成

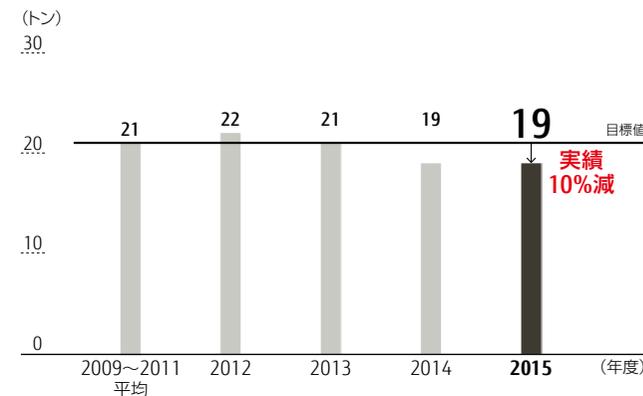
2015年度におけるグループ全体での化学物質排出量はPRTRが19トン、VOCが201トンとなり、2009年～2011年度の平均以下に抑制することができました。

#### TOPICS 純水製造設備におけるイオン交換樹脂再生回数削減による薬品使用量の削減

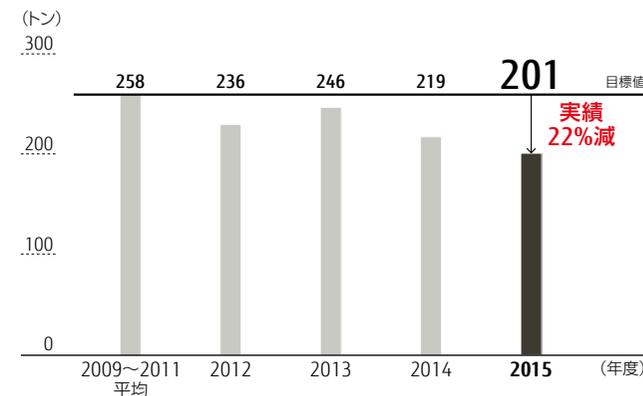
富士通長野工場では、プリント基板製造ラインに純水を供給する純水製造設備において、原水の水質が以前より良好な傾向であることに着目し、純水製造設備のイオン交換樹脂の再生回数を削減することに取り組みました。この活動を通じて、再生に使用する薬品(塩酸、苛性ソーダ)、水、廃水、および蒸気の削減による環境負荷低減と、これに伴うコスト削減を目指したものです。活動の際には、純水装置メーカーと情報交換し水質調査を実施するとともに、原水の電気伝導度および製造された純水の電気伝導度を日常点検にて確認し、イオン交換樹脂の能力低下がないことを確認しました。

この活動により、年間で塩酸89トン、苛性ソーダ200トンの使用量削減を実現し、化学物質排出量を削減するとともに、廃水(17千m<sup>3</sup>/年)・蒸気(185トン/年)・電気(38MWh/年)の削減も達成しました。経済的な削減効果は年間1,649万円となりました。

### 国内PRTR排出量推移



### 国内VOC排出量推移



### 2016年度の目標・計画

#### PRTR排出量の抑制を継続

第8期環境行動計画目標「化学物質(PRTR)排出量を2012～2014年度の平均以下に抑制する。(20.7トン)」を推進するため、2015年度に引き続きPRTR排出量の抑制を継続します。